

もろてあわせて

■ 楽曲データ

歌詞：成瀬左千夫 作詞

楽曲：和気健康 作曲

発表：仏教音楽研究所

初演：—

初出：『もろてあわせて』 浄土真宗本願寺派仏教音楽研究所 1984年

管理番号：M1689

■ 創作の経緯

仏教音楽研究所の1983年度第5回作曲募集入選作品のひとつ。《おかげさま》《ごおんうれしや》とともに発表。

■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第2巻収録

底資料：『もろてあわせて』 浄土真宗本願寺派仏教音楽研究所 1984年

比較資料：弟子による筆写浄書譜

校訂の詳細：特になし

■ 解説

《もろてあわせて》は、仏教讃歌には珍しい演歌調の作品です。《ごおんうれしや》《おかげさま》とともに「演歌三部作」と通称され、その親しみやすさから、生活のなかで愛唱されています。

◆ 楽曲について

作詞者の成瀬左千夫さんは、合唱曲や童謡などの歌詞を手がけられた方です。作曲者の和気健康さんの経歴は分かりません。

この《もろてあわせて》1番の冒頭で歌われている「今日」とは、どんな日でしょうか。記念日や節目の日……あるいは、いつもと変わらない朝にはじまる、ごくありふれた一日かもしれません。特別な日もそうでない日も、迎えたひと日を尊くありがたいものと受け止められるのは、限りある時間のなかを生かされ生きているのだと知ってこそ。おかげさまの思いが心に満ちる時、今日という日をただそのままに、幸せと思えるのではないのでしょうか。

◆ 演奏のヒント

日本的な、馴染み深い響きをもつメロディーが特徴的です。15～16小節目など

は、特に演歌らしさを感じさせるフレーズです。大切な「おかげさま」という言葉を繰り返す部分ですので、音程に気をつけて歌ってみてください。また、8分音符が4つ連続するところは、なめらかに流れよく歌いましょう。21小節目からの「もろてあわせて くらします」は、その前の歌詞（17～20小節）を心に浮かべ、思いを込めて歌っていただきたいと思います。

◆楽譜

『聖歌・讃歌集』第2巻（本願寺出版社刊）所収の楽譜（原曲）のほか、二部合唱版が『讃歌集 二部合唱』第8巻に掲載されています。

執筆：田村菜々子（浄土真宗本願寺派総合研究所研究助手）

※本解説は、「メロディーの宝石箱」（仏教婦人会総連盟機関誌『めぐみ』第230号収録）を加筆・修正のうえ、転載。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.